

観と生き方が変わらなければ子供たちの悲劇は続くだろう。

フランスの女性ジャーナリストC・ロシュフォールは「追いつめられた子どもたち」という告発書を書いている。現在、差別は大きく三つある。人種差別と性差別と大人の子供差別である。人種差別と性差別はそれなりの声が挙げられ改善されつつあるが、大人の子供差別は子供は声を挙げられない寡黙な存在だけに深刻であると色々な事例を報告しながら警告している。被差別者は常にねじれた形でしか自己主張できないが、子供たちは尚更である。

イエス・キリストがベツレヘムに誕生した時、ヘロデ大王は自分以外の王の出現は許さないとその地方一帯の幼児たちを皆殺しにした。力によって他者の存在を否定した。一方、神の子の誕生を知らされた羊飼いたちは、幼子イエスに導かれ礼拝した。力のない、そして貧しい「飼い葉桶」に眠る幼子イエスに神を見た。聖書は人間の思いを逆転させ、そこに福音があると伝えている。

—牧師室から—

「いじめ」を苦にして自殺する子供たちが連日報道されている。苦しみを誰にも相談できず自分の命を断つ絶望は痛ましい。評論家たちは色々なことを述べている。友達でありながら、いじめを見ても自分には関わりないと無関心である。変わった子をいじめの対象にする異質への拒否感がある。教師は「いじめ」と「ふざけ」を判別できなくなっており、学校管理も閉鎖的である。親子関係が希薄で話し合いが少ない。核家族化は死をテレビの映像でしか知らず、命の重さに対する認識が足りない。忍耐力がなく、連鎖反応に走りやすい。みななるほどと思う。言えることは、子供たちの姿は大人社会をはっきりと映し出しているということである。力と富と美だけを追及する大人たちの価値

週 報

1994年12月25日 降誕日

クリスマス礼拝

巻15 39号

1994年度教会主題

「十字架のキリストを証する」

聖句 あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。

コリントの信徒への手紙一 6章20節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

ファックス 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋 吉 隆 雄